

平成24年度入学試験問題（後期日程）

小論文

医学部 保健学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

非公開

非公開

注釈

感染症；細菌やウイルスといった微生物が体内に侵入し増殖することで起こる病気の総称
黒死病（ペスト）；ペスト菌の感染が原因となる病気で、多数の出血斑により全身の皮膚に
黒いあざが生じる

周産期；胎児・新生児，母体に障害が起こりやすい，妊娠 28 週から出産後 7 日までの期間

非感染症；感染症以外の病気の総称

心筋梗塞，脳梗塞；心臓や脳に栄養素や酸素を送る動脈が何らかの理由で閉塞，あるいは狭窄（きょうさく）することで，その血流域の心筋細胞や脳細胞が死に至った状態を指す

再興感染症；既知の感染症で，発生数が減少し，公衆衛生上ほとんど問題にならなくなっていたが，近年再び出現・増加している感染症を指す

（尾身 茂 著 「医療の輪が世界を救う」，『医の未来』（矢崎 義雄 編），2011 年，岩波新書，76 ～ 81 ページより抜粋・一部改変）

問 1. 文中，①の第三の波は，どのような伝搬ルートか。「アフリカ固有のマalariaや黄熱病等の感染症」という用語を用いて，100 字以内で述べなさい。

問 2. 今後，開発途上国においても非感染症が解決すべき重要な課題になると予想されている。その理由について 200 字以上，400 字以内で述べなさい。

問 3. 地球温暖化は，人の健康に直接ならびに間接的に影響すると考えられる。その理由を 150 字以上，200 字以内で述べなさい。

問 4. 開発途上国が抱える保健・医療に関する問題の解決のために，日本はどのような貢献ができるのか。300 字以上，400 字以内であなた自身の考えを述べなさい。

平成24年度入学試験問題（後期日程）

小論文

医学部 保健学科

出題の意図

1. 資料文の内容を理解する力，設問の主旨を的確に捉えて論点を整理する力，
ならびに論理的に要約する力が備わっているかを判定する。
2. 普段から，新聞やインターネット等に散見される保健・医療分野に関する記事に
関心を抱き，保健・医療問題について多様な観点から思考する習慣を身につけて
いるかを判定する。